**課題１：「政策動向をふまえた自身の実践課題についてまとめる」**

以下に示す各省庁等から発行されている白書や資料を読み、あなたの所属組織を中心とした分野における自身の実践課題について、政策動向をふまえた上で、所定のフォームに従って記述してください。なお、オンライン研修当日は、提出いただいた所定のフォームに沿ってグループ内で発表いただきます。

**＜留意点＞**

* 文字数は、「Ⅰ．テーマ設定の理由」「Ⅱ．政策動向の概要（現状）」で1,000字程度、「Ⅲ．政策動向をふまえた自身の実践課題」「Ⅳ．課題解決方法」「Ⅴ．想定される効果」で2,000字程度の合計3,000字程度として、前後１割（合計2,700字～3,300字）までを有効とします（登録番号、氏名（所属）、読んだ白書や資料、テーマ・サブテーマ、各項目名や見出し、参考文献・引用文献は除きます）。
* 所定のフォームを用いてまとめてください。記述は箇条書きではなく、文章形式で記述してください。すべての項目を記述してください。
* 必ず以下に示す各省庁等から発行されている白書や資料を読み、課題を作成してください。以下に示すもの以外で作成した場合は無効となります。白書や資料は、過去1年度間（2022年度以降）に発行されているものを読み、作成してください。
* オンライン研修時に、グループに分かれて、実践課題発表（研究実績）「政策動向をふまえた自身の実践課題についてまとめる」として、各受講者から発表いただきます（個人発表10分、質疑応答5分）。

なお、研修当日は、ご自身で画面共有をして発表いただく予定です。

|  |  |
| --- | --- |
| **認定分野** | **該当する白書や資料** |
| **分野共通**※どの認定分野でも可 | 厚生労働白書（厚労省） ／ 自殺対策白書（厚労省） ／ 国民生活白書（内閣府） ／ 経済財政白書（内閣府） ／ 地方財政白書（総務省） ／ 国民の福祉と介護の動向（厚生労働統計協会） ／ 保険と年金の動向（厚生労働統計協会） |
| 厚労省　社会・援護局関係主管課長会議資料（※）／ 社会福祉法に基づく市町村地域福祉計画、都道府県地域福祉支援計画 ／ 社会福祉法に基づく重層的支援体制整備事業実施計画、指針 |
| **高齢** | 高齢社会白書（内閣府） |
| 厚労省　全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料（※）／ 介護保険法に基づく市町村介護保険事業計画、都道府県介護保険事業支援計画、基本指針 ／ 老人福祉法に基づく市町村老人福祉計画、都道府県老人福祉計画 |
| **障害** | 障害者白書（内閣府） |
| 厚労省　障害保健福祉関係会議資料（※）／ 障害者総合支援法に基づく市町村障害福祉計画、都道府県障害福祉計画、基本指針 ／ 障害者基本法に基づく市町村障害者計画、都道府県障害者計画、障害者基本計画 |
| **児童・家庭** | 子供・若者白書（内閣府） |
| 厚労省　全国児童福祉主管課長会議資料（※） ／ 子ども・子育て支援法に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画、都道府県子ども・子育て支援事業支援計画、基本方針 ／ 児童福祉法に基づく市町村障害児計画、都道府県障害児計画、基本指針 |
| **医療** | 国民衛生の動向（厚生労働統計協会） |
| 厚労省　全国医政関係主管課長会議資料（※）／ 医療法に基づく医療計画、基本方針 |
| **地域社会・多文化** | 男女共同参画白書（内閣府） ／ 防災白書（内閣府） ／ 犯罪白書（法務省） ／ 再犯防止推進白書（法務省）／犯罪被害者白書（警察庁） ／ 入管白書「出入国在留管理」（出入国在留管理庁） ／ 少子化社会対策白書（内閣府） |

 ・（※）の記載がある資料は、各資料の掲載サイトに説明明動画があります

**課題１ ： 政策動向をふまえた自身の実践課題についてまとめる**

|  |
| --- |
| 認定社会福祉士登録番号：　　　　　　　　　氏名：　　　　　　　  |
| 読んだ白書や資料： |
| テーマ：　　　　　　　　　　サブテーマ：　　　　　　　　　　　 |
| Ⅰ．テーマ設定の理由Ⅱ．政策動向の概要（現状） |
| Ⅰ・Ⅱの字数：（　　　　　　）字・・・① |
| Ⅲ．政策動向をふまえた自身の実践課題 　※具体的な地域、組織、個人が特定できないよう配慮ください。ⅰ．倫理的配慮 ※本文を記載するにあたっての倫理的配慮したこと（マスキングしたこと等）ⅱ．具体的な実践課題Ⅳ．課題解決方法Ⅴ．想定される効果■参考文献・引用文献 ※字数に含みません。 |
| Ⅲ～Ⅴの字数：（　　　　　　　）字・・・②　　 |
| Ⅰ～Ⅴの合計字数：（　　　　　　　）字・・・①＋② |